

男女共同参画

～誰もが輝く誇り高い
まちを目指して～



誇り高い、元気なまち沼津の実現に欠かせない、市民の皆さん一人ひとりが輝いている姿。そのひとつとして、性別にかかわらず、自分らしく生活できる環境を整えていくために、様々な場面でされている「男女共同参画」の取り組みを紹介します。◎地域自治課 ☎055-934-4807



働きやすい職場づくり

働く人にとって長い時間を過ごす「職場」という環境にも男女共同参画の考えが取り入れられ、いきいきと自分らしく働きやすい環境がうまれています。

働き方をきちんと考える

男女共同参画推進事業所であるデザイン会社サンディオスでは、性別も年齢も、個性も豊かな10人のスタッフが働いています。

代表を務める津賀由布子さんは「私たちの会社は、お客様との距離が密接で、一人ひとりにかかる責任や期待も大きくなります。長く会社を続けられるのもスタッフみんなのおかげなんです。だからこそ、一人の人間として働き方や暮らし方についてきちんと考



サンディオスの皆さん(右奥が代表の津賀由布子さん)

大事なものは職場での意識

津賀さんは、自身が妊娠出産のタイミングで多くの人に助けられたことや、子育て中にかけてがえのない時間を過ごしたという経験から、これまで会社になかった産休育休制度を導入したそうです。スタッフの中にも、制度を利用して子どもと向き合う貴重な時間をたっぷり過ごすことができた、という人もいます。「育児が落ち着いてからそんな職場に復帰できたことは、制度だけでなく、受け入れるスタッフのおかげでもあることは間違いありません。もう一人子どもが欲しいという男性スタッフの育休取得に向けても話し合いを進めているところなんです」と教えてくれました。

他にもみんなで話し合っ出て出勤時間選択制を取り入れたことにより、保育園に子どもを預けてからゆつくりと出勤したり、趣味を楽しんだりするなど、それぞれが時間を有意義に活用しています。

みんなが助け合う地域コミュニティ

「自分たちの住む場所をもっと良くしたい」という想いから、「コミュニティ活動の場でも男女共同参画の取り組みが広がっています。」

意見を言いやすい環境が大切

地域住民同士の交流を深め、住み良いまちづくりを進めている門池地区。門池地区の男女共同参画の取り組みは、平成27年度の避難所運営訓練に、女性の視点を取り入れるところから始まりました。

門池地区では訓練内容を決めるにあたり、性別や年齢を問わず皆さんの人と話し合いを重ねてきました。そうすることで避難所のレイアウトや仮設トイレの設置方針など、多くの人が安心できる避難所運営のシミュレーションができたそうです。

コミュニティ推進委員会会長の福田和男さんは「地域には、性別も年齢も抱えている事情も異なる人たちがたくさんいます。各避難所運営会議で「多様性への配慮」について話し合い、その重要性を改めて学ぶことができました」と話します。避難所運営会議に参加した石井由美子さんは「着替えスペースや授乳スペースの確保などを提案したら、実際に訓練に取り入れられたんです。女性でも意見を言いやすい環境があっても心強いです」と教えてくれました。

働きやすい環境へ

サンディオスの皆さんは「デザイン以外にも地域や社会に貢献したい」と子連れでオフィスに来ることが当たり前になったらしい」と、どんな理想の働き方、暮らし方のイメージが膨らんでくるそうです。

「働くって意外と一人ではできないんですよ。だからこそスタッフみんなです。いろいろな意見を出し合って、働きやすい環境をつくってあげたいです。ですね。沼津市全体にそんな考え方が広がれば素敵だなんて思います」と笑う津賀さん。

性別を問わずスタッフがいきいきと働くオフィスには、たくさん笑顔が溢れているのが印象的でした。

性別を問わず働きやすい環境へ

市では、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業所を「沼津市男女共同参画推進事業所」として認定しています。現在 84 の事業所が認定されており、その数は年々増えています。市ホームページ等で事業所の取り組みを紹介していますので、ご覧下さい。



男女共同参画推進事業所 サツマ電機の皆さん

地域が豊かであるために

住民同士のつながりを継続していくためには、一人ひとりが性別ではなく、個性や得意なことを活かし、地域に気持ちよく関わられる環境が重要です。地域コミュニティは助け合いの気持ちで成り立っていると思います。10年後も門池地区が豊かであるために、オール門池で取り組んでいきたいですね」と福田さんは語ってくれました。



一人ひとりが輝けるまちへ



本市では、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、自分らしく生活することができるよう男女共同参画社会の実現を目指しています。第4次沼津市男女共同参画基本計画では「家庭」「職場」「教育」「地域」における男女共同参画の取り組みを重点取組目標とし、男性を対象とした家庭参画ワークショップや、事業所や従業員に向けたワークショップ・ライブ・バランスに関するセミナーを開催するなど、様々な取り組みを行っています。

今回の広報めまづでは、地域と職場の取り組みを紹介しましたが、そこには自分らしく楽しく活動している人たちの姿がありました。誰もがいきいきと輝いて生活できるまちの実現には、組織だけではなく、市民の皆さん一人ひとりの意識や取り組みも重要です。

「男だから」「女だから」と性別にかかわらず、垣根のない環境を皆でつくることによって、誰もが輝ける、誇り高いまち沼津になるのではないのでしょうか。家庭や職場で、性別によって役割を固定していませんか。改めて自分の周りをみつめ直してみましよう。